

デジタルクリエイション

第2セミナー（16：00～16：50）

実施曜日	月曜日	
場所	メディア室	
控え室	メディア室	
対象学年（定員数）	3～6年生（20人）	
講師名	亀井 美穂子（かめい みほこ） 宮下 十有（みやした とあり）	
講師紹介	<p>亀井美穂子 椋山女学園大学文化情報学部准教授 大学では、情報デザイン論、メディアと教育、メディア・リテラシーを担当。第40回NHK日本賞コンテンツ部門第1次審査委員（児童向けカテゴリー）担当。</p> <p>宮下十有 椋山女学園大学文化情報学部准教授 大学では編集デザインや動画制作を担当。</p> <p>毎年8月に椋山女学園大学で開催される「あいちワークショップ・ギャザリング」を運営。その他、様々なところでワークショップを出展。</p>	
目標	デジタル機器を取り入れた「ものづくり」を通して、考える力、アイデアをカタチにする力を身につける。「使う」「見る」から「自分で作る」へ。年間を通して様々な作品づくりに取り組む。	
講座内容	パソコンやタブレットでのアニメーションやゲームの制作、カッティングマシンや3Dプリンタなどのデジタル工作機器による実際に手に取ることのできる「ものづくり」をする。また、身の回りにあるセンサー&プログラミングを身近に感じることが出来る電子工作にも取り組む。いろいろな素材やいろいろな道具を使って、自分が作りたいものを作る力をつけていく。 初心者には基礎から、経験者には制作したいものの制作をサポートします。	
計画	1学期	制作のための素材や道具の特徴を知る。
	2学期	最終作品を作るため、1学期で使った素材や道具を組み合わせたり、構想を練ったりする。
	3学期	これまでに学習したことを活かして、最終作品の作り込みをする。
講師が準備するもの	資料、ワークシート、タブレット	
児童の持ち物	特になし	
受講時の注意	メディア情報について学んでいる椋山女学園大学の学生がサポートしますので、初心者の方でも安心して参加していただけます。	